

# ゼロ「から」の絵画展

## 木嶋正吾

2023  
11.3 [金・祝]  
—  
11.19 [日]

- 開館時間 = 午前 10 時—午後 5 時 [入館は午後 4 時 30 分まで]
- 休館日 = 6,13 [月曜日]
- 入館料 = 一般 1000 円 / 高大生 600 円 / 小中生 400 円
  - \*20 名以上団体は各 2 割引
  - \*土曜日と日曜日午前は中学生以下無料
  - \*障がい者とその付添者 1 名は手帳の提示で半額
  - \*キャンパスメンバーズ登録校学生は学生証提示で無料
- 主催 = 山形美術館、山形新聞、山形放送
- 共催 = 山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団
- 後援 = 山形市

山形美術館  
山形市大手町 1-63 tel.023 622 3090  
[www.yamagata-art-museum.or.jp](http://www.yamagata-art-museum.or.jp)

# ゼロ [ から ] の絵画 — 木嶋正吾展 Shogo Kijima : Paintings beyond Zero

木嶋正吾(1953年、山形市生まれ)は、多摩美術大学大学院美術研究科を修了した1980年代から、絵画面にアルミ片を貼りつけ、褐色による幾何学的な構成を持ったレリーフ状の絵画「零度」連作に取りくんできました。2000年代前半には、画面に貼りつけた紙片を再び剥がし、着色したコラージュによって、モザイク状の淡い表情を持つ絵画へと展開していきます。絵画連作のタイトル―「零度」「零視」「零比」「零形」「零色」「零層」―に伺えるように、木嶋の制作には、絵画の存立する極点を見きわめようとする、ゼロへの考察があります。

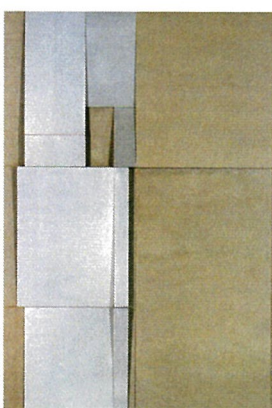
本展では、木嶋正吾の初期から最新作約50点によって、絵画の可能性を追究し続ける画家・木嶋正吾の広がりゆく世界を紹介します。



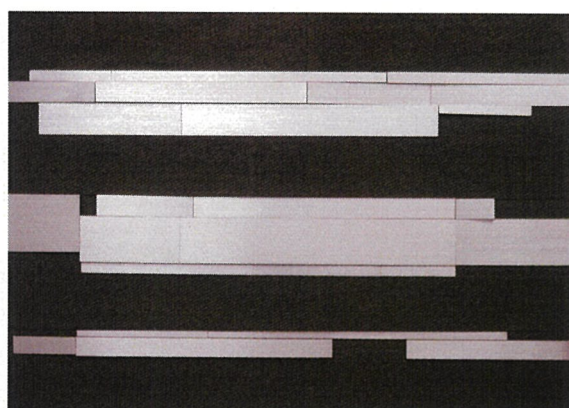
《絶対零度 84-B》1984年



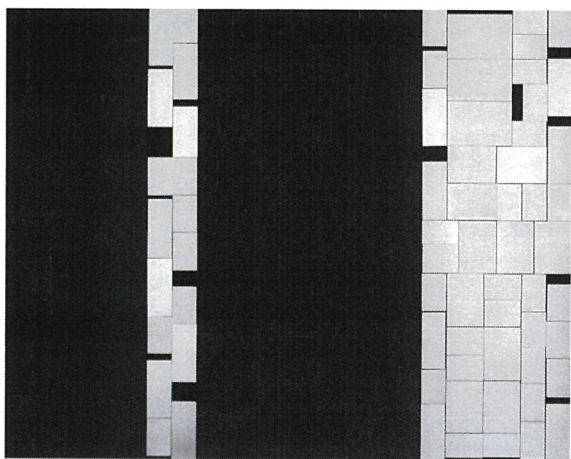
《零度 95-6》1995年



《零度 99-27》1999年



《零度・青海波 -2》2000年



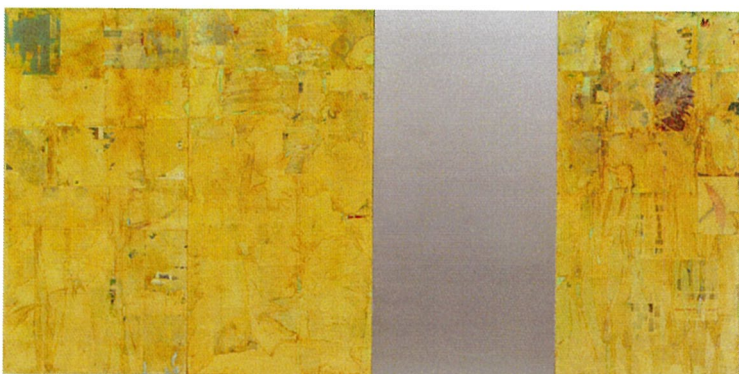
《零度 3-1》2003年



《零度 9-9》2009年



《零度 11-9》2011年



《零視 14-1》2014年



《零形 18-10》2018年

## 関連イベント(要観覧料)

・木嶋正吾ギャラリートーク  
11月3日(金・祝) 15:00-  
11月19日(日) 14:00- 展示室

・担当学芸員によるギャラリートーク  
11月5日(日)、12日(日)、19日(日)  
各回 11:00- 30分程度



## ■山形美術館への交通案内

徒歩 JR山形駅東口から徒歩15分  
バス ベニちゃんバス「中心市街地」行き  
霞城公園前下車徒歩4分  
山形自動車道山形蔵王I.C.から約15分  
山形美術館北側に無料駐車場がございます。  
美術館前の山形市大手町駐車場は有料です。

**山形美術館**

山形市大手町1-63 tel.023 622 3090  
www.yamagata-art-museum.or.jp



## 木嶋正吾

1953年山形県生まれ。1978年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。第14回現代日本美術展(85、87、89、92、93年)/1980年多摩美術大学大学院美術研究科修了、第13回日本国際美術展(84、86、88、90年)/1984年第48回新制作展新作家賞受賞(85、86年と3年連続同賞受賞、87年会員)/1991年ジャパンフェスティバル(ロンドン、パーピカンセンター)/1997年個展(デュッセルドルフ、ゲストスタジオ)/デュッセルドルフ大美術展(デュッセルドルフ、クストパラスト)/2008年アジア・コンテンポラリー・アートフェア(ニューヨーク、PIER92)/2009年個展(ソウル、アートリンク)/2010年個展(ニューヨーク、セラムギャラリー)/2013年清州国際アートフェア(韓国、清州)/2014年天涯若比隣展(韓国、仁川大学)/2016年公募団体ベストセレクション美術2016展(東京都美術館)/2023年多摩美術大学(東京)現在 多摩美術大学教授、新制作協会会員、日本美術家連盟会員